

さなだきたかなめいせきぐん
真田北金目遺跡群

平塚市No.50・No.235・No.237 遺跡

調査期間 2012年10月1日～

2013年12月15日

所在地 平塚市真田・北金目地内

時代 近世・中世・奈良・平安・古墳
弥生・縄文

調査原因 独立行政法人都市再生機構による
平塚市計画事業真田・北金目
特定土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査



遺跡位置 平塚市北西部、小田急線東海大学前駅から東方1.5kmに位置する。

主な調査成果

縄文時代～近世までの遺構や遺物が出土しています。

これまでの調査で、台地の平坦部では、弥生時代～古墳時代の住居跡などが多数発見されています。

今回の調査地点は、台地斜面部にあたり、中世の溝状遺構などが発見されました。

これは北側に隣接する中世城館である真田城跡の関連施設であると考えられます。



北金目塚越遺跡 第11地点5次
調査区近景（北から）



北金目塚越遺跡 第11地点5次
発掘調査状況（北から）



北金目塚越遺跡 第11地点5次
中世～近世溝状遺構完掘状況（東から）



北金目塚越遺跡 第11地点5次
中世～近世溝状遺構完掘状況（東から）